

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-01			
施設名	花の木ひろば館					
所在地	荒川五丁目50番5号(荒川保育園併設)					
部課名	子ども家庭部児童青少年課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	昭和45年	45,804	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	昭和45年10月24日		区職員	その他		
供用開始年月日	昭和45年11月1日		職員数	16	0	
構造	RC造		階層	地上4階		
面積	敷地面積		荒川保育園敷地内(1,065.22)㎡			
	延床面積		919㎡			
設置目的・経緯	児童福祉の増進					
関連部署	保育課、区民施設課					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等					
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> トイレ		
駐輪場の状況	5台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
				-	まで	
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。					
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者、学童クラブ利用児童					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等	年間利用者数(人)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(見込み)
	年間利用者数(人)	32,091	33,310	30,140	29,367	30,800
	閉館日数(日)	293	293	293	293	293
	学童クラブ定員(人)(4/1)	60	60	60	60	60
	学童クラブ在籍者数(人)(4/1)	61	68	72	69	70
に指定管理 用等 費						
備考						

III 財務諸表

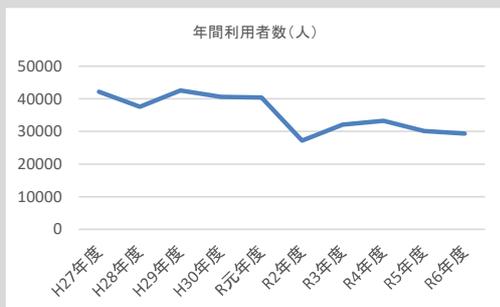
(単位:千円)

	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	R5年度	R6年度	差額		R5年度	R6年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	97,550	93,319	▲ 4,231	地方税等	0	0
	物件費	6,504	9,356	2,852	国庫支出金	5,576	6,475
	維持補修費	2,226	18,576	16,350	都支出金	7,282	16,864
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	2,829	2,930
	補助費等	166	207	41	使用料及び手数料	29	16
	減価償却費	0	0	0	その他	264	220
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	15,980	26,505
	賞与・退職給与引当金繰入額	9,480	11,782	2,302	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 99,946	▲ 106,735
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	115,926	133,240	17,314	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 99,946	▲ 106,735
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 99,946	▲ 106,735	
貸借対照表	勘定科目			流動負債	勘定科目		
	R5年度	R6年度	差額		R5年度	R6年度	差額
	収入未済	0	0	4,964	4,631	▲ 333	
	不納欠損引当金	0	0	還付未済金	0	0	
	その他の流動資産	0	0	特別区債	0	0	
	有形固定資産	0	0	賞与引当金	4,964	4,631	
	土地	0	0	その他の流動負債	0	0	
	建物	45,804	45,804	固定負債	42,592	43,542	
	建物減価償却累計額	▲ 45,804	▲ 45,804	特別区債	0	0	
	工作物等	0	0	退職給与引当金	42,592	43,542	
	工作物等減価償却累計額	0	0	その他の固定負債	0	0	
	無形固定資産	0	0	負債の部合計	47,556	48,173	
	建設仮勘定	0	0	正味財産	▲ 47,556	▲ 48,173	
その他の固定資産	0	0	正味財産の部合計	▲ 47,556	▲ 48,173		
資産の部合計	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0		
備考	R6年度の行政費用について、遊戯室のサッシ工事を工事を行ったため、維持補修費が増加した。						

指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
1㎡当たりコスト(円)	106,109	110,339	126,164	145,007	
経費に占める収入の割合(%)	31	30.0	2	19.9	
開館1日当たりコスト(円)	332,758	346,024	395,652	454,744	
利用者1人当たりコスト(円)	3,038	3,044	3,846	4,537	
人にかかるコストの割合(%)	88	80.0	92	78.9	
財務指標・評価指標等					
備考	令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る国・都補助金を計上することとしたため、経費に占める収入の割合が増加している。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことにより、年間利用者数が回復したが、維持補修費の大幅な増に伴い、利用者1人当たりコストが微増となった。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	年間利用者数	32,900 実績値	39,000	37,000	30,800	30,800
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	児童に対する豊かな遊びの提供の場、切れ目ない地域の子育て拠点					
現状・課題	<p>○積極的な地域との交流を継続的に行い、魅力的なプログラムを実施する必要がある。</p> <p>○区内で唯一の木工室や読書コーナー等がある花の木ひろば館の施設の機能を活かしたひろば館運営が必要である。</p> <p>○子育て中の保護者の悩み等を把握し、地域の子育て拠点としての役割を果たす必要がある。</p> <p>○施設及び設備の老朽化により、改修等が必要な箇所がある。将来的にふれあい館への移行を見据えながら、施設の機能・性能の保全に努め、修繕を計画的に実施していく必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○今後も地域との交流や、木工室等の施設の機能を活かし、魅力的な事業やプログラムを充実させ、中高生を含め、児童、生徒の利用増に繋がる取組みを進めていく。</p> <p>○保護者向け講座を充実させ、保護者同士の交流を図っていくとともに、保護者が気軽に相談できるよう声掛けを行っていく。</p> <p>○日常点検や保守点検を有効活用し、危険箇所を事前に把握し、利用者が安心して利用できる環境を提供していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						



新型コロナウイルス感染症対策を行いながら館を運営し、利用者数は回復傾向である。

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-02			
施設名	熊野前ひろば館					
所在地	東尾久五丁目9番3号(男女平等推進センター併設)					
部課名	子ども家庭部児童青少年課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成9年	347,575	国・都	区債	一般財源
	増改築①	平成30年	9,282			
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成9年3月29日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成9年4月1日		職員数	13	0	
構造	RC造		階層	地上3階、地下2階		
面積	敷地面積	男女平等推進センター敷地内(1,031.56)㎡				
	延床面積	599 ㎡				
設置目的・経緯	児童福祉の増進					
関連部署	総務企画課、区民施設課					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等					
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	30台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。					
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者、学童クラブ利用児童					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(見込み)	
	年間利用者数(人)	20,907	23,883	28,554	29,075	29,200
	閉館日数(日)	293	293	293	293	293
	学童クラブ定員(人)(4/1)	50	50	50	50	50
	学童クラブ在籍者数(人)(4/1)	19	23	42	36	36
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

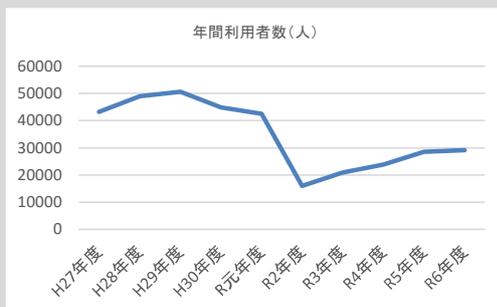
(単位:千円)

	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	R5年度	R6年度	差額				R5年度	R6年度	差額			
行政コスト計算書	給与関係費	70,526	79,241	8,715	地方税等	0	0	0				
	物件費	4,614	7,503	2,889	国庫支出金	2,709	3,482	773				
	維持補修費	1,577	626	▲951	都支出金	4,639	4,994	355				
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	1,201	1,564	363				
	補助費等	157	269	112	使用料及び手数料	89	142	53				
	減価償却費	10,006	10,006	0	その他	0	0	0				
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,638	10,182	1,544				
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,854	10,004	3,150	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲85,096	▲97,467	▲12,371				
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0				
	行政費用合計(b)	93,734	107,649	13,915	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲85,096	▲97,467	▲12,371				
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲85,096	▲97,467	▲12,371					
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,589	3,933	344			
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0				
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0				
	有形固定資産	90,981	80,975	▲10,006	賞与引当金	3,589	3,933	344				
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0				
	建物	356,857	356,857	0	固定負債	30,793	36,973	6,180				
	建物減価償却累計額	▲265,876	▲275,883	▲10,007	特別区債	0	0	0				
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	30,793	36,973	6,180				
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0				
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	34,382	40,906	6,524				
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	56,599	40,069	▲16,530				
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	56,599	40,069	▲16,530					
資産の部合計	90,981	80,975	▲10,006	負債及び正味財産の部合計	90,981	80,975	▲10,006					
備考	令和6年度の行政費用について、会計年度(月額)の増により給与関係費が増加した。											

指標		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	69	72	75	77.3	
	1㎡当たりコスト(円)	160,955	154,917	156,576	179,820	
	経費に占める収入の割合(%)	17	20	2	9.5	
	開館1日当たりコスト(円)	328,860	316,522	319,911	367,403	
	利用者1人当たりコスト(円)	4,609	3,883	3,283	3,702	
	人にかかるコストの割合(%)	82	80	83	82.9	
備考	令和2年度の空調設備改修における国・都補助金に加え、令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る補助金を計上することとしたため、経費に占める収入の割合が増加している。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことにより、年間利用者数が回復したため、利用者1人当たりコストが減少した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	年間利用者数	19,300 実績値	25,000	28,000	29,200	
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	児童に対する豊かな遊びの提供の場、切れ目ない地域の子育て拠点					
現状・課題	<p>○積極的な地域との交流を継続的に行い、魅力的なプログラムを実施する必要がある。</p> <p>○児童事業実施ひろば館で唯一の多目的室を活用したひろば館運営が必要である。</p> <p>○子育て中の保護者の悩み等を把握し、地域の子育て拠点としての役割を果たす必要がある。</p> <p>○男女平等推進センターと一体になって施設の機能・性能の保全に努めながら、修繕を計画的に実施していく必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○今後も地域との交流や、多目的室を活用した体を動かすプログラムを充実させ、中高生の居場所も提供することで、児童、生徒の利用増に繋がる取組みを進めていく。</p> <p>○保護者向け講座を充実させ、保護者同士の交流を図っていくとともに、保護者が気軽に相談できるように声掛けを行っていく。</p> <p>○日常点検や保守点検を有効活用し、危険箇所を事前に把握し、利用者が安心して利用できる環境を提供していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						



新型コロナウイルス感染症対策を行いながら館を運営し、利用者数は回復傾向である。

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-03			
施設名	ひぐらし小学童クラブ(旧西日暮里二丁目ひろば館)					
所在地	西日暮里二丁目32番25号(ひぐらし小学校敷地内)					
部課名	子ども家庭部児童青少年課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成28年	271,447	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成28年4月13日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成28年4月18日		職員数	0	13	
構造	鉄骨造		階層	地上3階		
面積	敷地面積	562.75㎡				
	延床面積	833.74㎡				
設置目的・経緯	児童の健全な育成を図る					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	学童クラブの運営に関する条例、学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例等					
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	30台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社マミーインターナショナル	期間	令和4年4月1日 令和6年3月31日	から まで	
事業内容	児童が放課後を安心・安全に過ごし、様々な体験・活動を行うことができるよう、学童クラブとにこにこすくーる(放課後子供教室)を一体として運営する。					
対象者	学童クラブ・にこにこすくーる利用児童					
運営時間等	運営時間	午前8時15分～午後7時(にこにこすくーるは午前9時～午後5時)				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(見込み)
	年間利用者数(人)	42,266	-	-	-	-
	閉館日数(日)	293	-	-	-	-
	学童クラブ定員(人)	80	80	80	-	-
	学童クラブ在籍者数(人) (4/1)	66	80	79	-	-
に指定管理 に係る費用						
備考	ふれあい館整備ニュープランにより、令和3年度末でひろば館機能が廃止、令和4年度より学童クラブ及びにこにこすくーるを委託化した。令和6年度普通教室棟への改修に伴い、学童クラブ及びにこにこすくーるは、令和5年度末に旧日暮里ひろば館へ移転したため、基本データ等の記載は令和5年度までとする。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			勘定科目	勘定科目		
	R5年度	R6年度	差額		R5年度	R6年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	46,043	1,558	▲ 44,485	国庫支出金	0	0
	維持補修費	107	0	▲ 107	都支出金	1,277	▲ 1,277
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	25	0	▲ 25	使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	9,772	0	▲ 9,772	その他	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,277	▲ 1,277
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 54,670	▲ 1,558
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	55,947	1,558	▲ 54,389	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 54,670	▲ 1,558
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 54,670	▲ 1,558
貸借対照表	勘定科目			勘定科目			
	R5年度	R6年度	差額	R5年度	R6年度	差額	
	流動資産			流動負債			
	収入未済	0	0	還付未済金	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	特別区債	0	0	
	その他の流動資産	0	0	賞与引当金	0	0	
	有形固定資産	232,358	▲ 232,358	その他の流動負債	0	0	
	土地	0	0	固定負債	0	0	
	建物	271,447	▲ 271,447	特別区債	0	0	
	建物減価償却累計額	▲ 39,088	0	39,088	退職給与引当金	0	0
	工作物等	0	0	その他の固定負債	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	負債の部合計	0	0	
建設仮勘定	0	0	0	0	0		
その他の固定資産	0	0	0	0	0		
資産の部合計	232,358	▲ 232,358	正味財産	232,358	0	▲ 232,358	
			正味財産の部合計	232,358	▲ 232,358		
			負債及び正味財産の部合計	232,358	0	▲ 232,358	
備考	令和5年度末に旧日暮里ひろば館へ移転したが、R6年度に物品の廃棄・移設を行ったため、物件費に一部計上がある。						

指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	7	11	14	#DIV/0!	
1㎡当たりコスト(円)	136,501	70,677	67,104	1,869	
経費に占める収入の割合(%)	29	51	2	0.0	
開館1日当たりコスト(円)	38,842	-	-	-	
利用者1人当たりコスト(円)	2,693	-	-	-	
人にかかるコストの割合(%)	76	0.0	0.0	0.0	
財務指標・評価指標等					
備考	令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る国・都補助金及びにこにこすくーるに係る都補助金を計上することとしたため、経費に占める収入の割合が増加している。令和3年度末でひろば館機能が廃止となったため、令和4年度の開館1日当たりコスト及び利用者1人当たりコストは不計上となっている。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ● その他(総合プランを移転(令和6年度から))					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 令和6年度普通教室棟へ改修するため教育施設課へ引き継ぎ) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、利用者の需要は高くなっている。					
現状・課題	○保育の質の担保及び魅力的な活動プログラムを実施するため、職員の資質の向上を図るとともに、区と事業者が意見交換しやすい環境を整える必要がある。 ○ひぐらし小学校や地域と連携し、放課後子ども総合プラン(一体型)を推進していく必要がある。 ○地域の危険個所の把握を行いながら、児童の安全確保及び児童への安全指導を行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○保育の質の向上を図るため、区職員による各字里クラブへの巡回指導と支援を強化していくほか、定期的に区と事業者との連絡会を開催し、意見交換が出来るよう努めていく。 ○旧日暮里ひろば館への移転後も引き続き、ひぐらし小学校と調整し、校内スペースを有効活用したり、地域の協力の下、体験学習等を充実することにより、一体型総合プランを推進していく。 ○移転に伴い施設周辺の状況も変わったことから、地域の巡回等を行い、危険個所の把握や情報収集を行うことで、児童の安全確保に努めていく。					
議会、利用者等からの意見						

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-04		
施設名	二日小学童クラブ				
所在地	東日暮里六丁目19番12号				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成25年	104,992	国・都	区債
	増改築①	令和3年	28,415	24,000	
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	令和3年3月12日		区職員	その他	
供用開始年月日	令和3年4月1日		職員数	5	
構造	鉄骨造		階層	地上2階	
面積	敷地面積			536	㎡
	延床面積			435	㎡
設置目的・経緯	児童の健全な育成を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	学童クラブの運営に関する条例、学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社日本デイケアセンター	期間	令和6年4月1日 令和11年3月31日	から まで	
事業内容	保護者の就労等により、昼間家庭において、適切な保護を受けることができない小学校在学児童に対し、適正な遊びと生活の場を提供する。また、学校休業日を中心に、二日小にこにこすくーる（放課後子ども教室）と連携し、放課後子ども総合プランとして運営する。					
対象者	保護者の就労等により、放課後に適切な保護を受けることができない荒川区に居住する小学校に在学する児童					
運営時間等	運営時間	午前8時15分から午後7時まで				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等	学童クラブ定員(人) (4/1)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(見込み)
	学童クラブ在籍者数(人) (4/1)	90	90	90	90	90
		76	79	87	83	83
に指定管理 に係る費用						
備考	学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、在籍児童数は増加傾向にある。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	R5年度	R6年度	差額				R5年度	R6年度	差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	30,568	32,478	1,910	国庫支出金	4,298	4,513	215	4,298	4,513	215	
	維持補修費	368	538	170	都支出金	4,298	5,854	1,556	3,877	3,664	▲ 213	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	3,877	3,664	▲ 213	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	0	0	0	
	減価償却費	3,677	3,677	0	その他	0	0	0	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	12,473	14,031	1,558	▲ 22,140	▲ 22,662	▲ 522	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 22,140	▲ 22,662	▲ 522	0	0	0	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	▲ 22,140	▲ 22,662	▲ 522	
	行政費用合計(b)	34,613	36,693	2,080	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 22,140	▲ 22,662	▲ 522	0	0	0	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	▲ 22,140	▲ 22,662	▲ 522	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 22,140	▲ 22,662	▲ 522					
貸借対照表	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0	
	有形固定資産	673,211	669,534	▲ 3,677	賞与引当金	0	0	0	0	0	0	
		土地	584,010	584,010	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	
		建物	104,991	104,991	0	固定負債	0	0	0	0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 15,791	▲ 19,468	▲ 3,677	特別区債	0	0	0	0	0	
		工作物等	2,973	2,973	0	退職給与引当金	0	0	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 2,972	▲ 2,972	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	673,211	669,534	▲ 3,677	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	673,211	669,534	▲ 3,677	673,211	669,534	▲ 3,677		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	673,211	669,534	▲ 3,677	673,211	669,534	▲ 3,677		
資産の部合計	673,211	669,534	▲ 3,677	負債及び正味財産の部合計	673,211	669,534	▲ 3,677					
備考	行政コストの大部分を、学童クラブ運営のための委託料等の物件費が占めている。また、エレベーター及び手摺等の修繕に伴い、維持補修費が生じた。											

	指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	11	14.0	17	20.8	
	1㎡当たりコスト(円)	71,687	75,680	8,453	84,352	
	受益者負担比率(%)	10	12	0.0	10.0	
	利用児童1人当たりの年間コスト(円)	410,316	416,722	42,264	442,084	
備考	令和4年度については、行政費用において、運営委託費の物件費や昇降機の修繕により維持補修費が増加したことに伴い、利用児童1人当たりの年間コストが増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
		目標値 実績値					
施設運営の方向性	● 転用・多目的化 民営化 他施設との統合 廃止 ● 現状維持 その他()						
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、在席児童数は増加している。						
現状・課題	○保育の質の担保及び魅力的な活動プログラムを実施するため、職員の資質の向上を図るとともに、区と事業者が意見交換しやすい環境を整える必要がある。 ○放課後子ども総合プラン推進の観点から、小学校の余裕教室の状況や、学童クラブ需要の推移等を注視していく必要がある。 ○安全・安心な保育環境を確保するため、施設の計画的な点検及び修繕を行う必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○安全・安心な保育環境の確保及び保育の質の向上を図るため、各学童クラブへの巡回指導と支援を強化していくほか、定期的に職員の連絡会を開催し、意見交換が出来るよう努めていく。 ○二日小にこにこすくーる(放課後子供教室)と連携した運営を継続しつつ、長期的な学童クラブ需要の推移を踏まえ、今後の建物の在り方について検討を進めていく。 ○不具合箇所に関する調査や巡回によって施設の状況を把握し、計画的に修繕を行っていく。						
議会、利用者等からの意見							

令和7年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-05		
施設名	南千住六丁目学童クラブ				
所在地	南千住六丁目68番7号				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	令和3年	247,179	国・都	130,000
	増改築①			区債	
	増改築②			一般財源	
併設施設					
竣工年月日	令和3年2月26日		区職員	その他	
供用開始年月日	令和3年4月1日		職員数	6	
構造	鉄骨造		階層	地上2階	
面積	敷地面積				421 m ²
	延床面積				436 m ²
設置目的・経緯	児童の健全な育成を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	学童クラブの運営に関する条例、学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社マミーインターナショナル	期間	令和3年4月1日 令和8年3月31日	から まで	
事業内容	保護者の就労等により、昼間家庭において、適切な保護を受けることができない小学校在学児童に対し、適正な遊びと生活の場を提供する。					
対象者	保護者の就労等により、放課後に適切な保護を受けることができない荒川区に居住する小学校に在学する児童					
運営時間等	運営時間	午前8時15分から午後7時まで				
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始				
施設基本データ等	学童クラブ定員(人) (4/1)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(見込み)
	学童クラブ在籍者数(人) (4/1)	100	100	110	110	110
		85	106	112	110	110
に指定管理 用等 費						
備考	学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、在籍児童数は増加傾向にある。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	行政コスト計算書	行政収入	特別収入				行政収支差額(a)-(b)=(c)	金融収支差額(d)	通常収支差額(c)+(d)=(e)			
行政コスト計算書	給与関係費			0	0	0	地方税等			0	0	0
	物件費			36,798	39,928	3,130	国庫支出金			5,668	7,490	1,822
	維持補修費			62	284	222	都支出金			5,668	8,831	3,163
	扶助費			0	0	0	分担金及び負担金			5,054	4,930	▲ 124
	補助費等			0	0	0	使用料及び手数料			0	0	0
	減価償却費			10,093	10,093	0	その他			0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)			16,390	21,251	4,861
	賞与・退職給与引当金繰入額			0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)			▲ 30,563	▲ 29,054	1,509
	その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)			0	▲ 24	▲ 24
	行政費用合計(b)			46,953	50,305	3,352	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 30,563	▲ 29,078	1,485
	特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)			0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 30,563	▲ 29,078	1,485
貸借対照表	勘定科目			R5年度	R6年度	差額	勘定科目			R5年度	R6年度	差額
	流動資産	収入未済		0	0	0	流動負債			0	3	3
		不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金			0	0	0
		その他の流動資産		0	0	0	特別区債			0	3	3
	有形固定資産	有形固定資産		216,900	206,807	▲ 10,093	賞与引当金			0	0	0
		土地		0	0	0	その他の流動負債			0	0	0
		建物		247,179	247,179	0	固定負債			0	▲ 8,620	▲ 8,620
		建物減価償却累計額		▲ 30,279	▲ 40,372	▲ 10,093	特別区債			0	▲ 8,620	▲ 8,620
		工作物等		0	0	0	退職給与引当金			0	0	0
		工作物等減価償却累計額		0	0	0	その他の固定負債			0	0	0
		無形固定資産		0	0	0	負債の部合計			0	▲ 8,617	▲ 8,617
	建設仮勘定		0	0	0	正味財産			216,900	215,424	▲ 1,476	
	その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計			216,900	215,424	▲ 1,476	
	資産の部合計		216,900	206,807	▲ 10,093	負債及び正味財産の部合計			216,900	206,807	▲ 10,093	
備考	行政コストの大部分を、学童クラブ運営のための委託料等の物件費が占めている。また、防犯カメラ・トイレの修繕に伴い、維持補修費が生じた。											

指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	4	8	12	16.3	
1㎡当たりコスト(円)	110,984	112,131	23,129	115,278	
受益者負担比率(%)	8	10	0.0	9.8	
利用児童1人当たりの年間コスト(円)	569,776	461,217	90,116	457,318	
備考	令和4年度については、在籍児童数の増加に伴い、利用児童1人当たりの年間コストが減少した。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	学齢人口は減少傾向にあるものの、保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、在席児童数は増加している。					
現状・課題	○保育の質の担保及び魅力的な活動プログラムを実施するため、職員の資質の向上を図るとともに、区と事業者が意見交換しやすい環境を整える必要がある。 ○放課後子ども総合プラン推進の観点から、小学校の余裕教室の状況や、学童クラブ需要の推移等を注視していく必要がある。 ○安全・安心な保育環境を確保するため、施設の計画的な点検及び修繕を行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○安全・安心な保育環境の確保及び保育の質の向上を図るため、各学童クラブへの巡回指導と支援を強化していくほか、定期的に職員の連絡会を開催し、意見交換が出来るよう努めていく。 ○現状の学童クラブ運営を継続しつつ、長期的な学童クラブ需要の推移を踏まえ、今後の在り方について検討を進めていく。 ○不具合箇所に関する調査や巡回によって施設の状況を把握し、計画的に修繕を行っていく。					
議会、利用者等からの意見						